

平成 28 年 2 月 17 日

上越市長 村山 秀幸 様

高田区地域協議会

会長 西山 要耕

高田駅前観光案内所の通年開設と活用について（意見書）

上越市地域自治区の設置に関する条例第 7 条第 1 項の規定に基づき、「高田駅前観光案内所の常時開設と活用について」に関して自主的に審議した結果、下記のとおり提出いたします。

記

北陸新幹線の開業により交流圏域が拡大し、高田区では、えちごトキめき鉄道を経由しより多くの来訪者を迎えられる環境が整ってきました。

高田区地域協議会ではこれを、観光客誘致による地域経済の活性化と歴史に培われた地域資源の魅力を高め交流拡大を図る好機と捉え、これまで勉強会や地域との意見交換を行ってまいりました。

しかしながら現状では、受入環境の基本ともいべき高田駅前観光案内所の開設期間が観桜会やお盆など年 40 日程度に限られ、来訪者から不満やとまどいの声が上がっています。

市では、上越妙高駅観光案内所を中心的な情報発信基地と位置付け、高田エリアの観光案内機能を移転したとしていますが、当協議会では、高田駅前観光案内所の通年開設と活用により、通年型、着地型観光へ取り組んでいくことが喫緊の課題であると考えています。

このことから、次のとおり提案します。

1. 高田駅前観光案内所の通年開設について

城下町高田には、観桜会など集客力の高い行事のほか、歴史的、文化的に魅力のある観光資源が多く点在し、それを目的に年間を通じ多くの来訪者があります。

来訪者からは、通年の観光案内所がないことに、不満や驚きの声さえ聞こえてきており、高田を訪れる多様な旅行者に快適な旅を提供できるよう、高田駅前観光案内所の通年開設を強く求めるものです。

2. 通年開設のために行政が中心になって研究会を組織することについて

地域住民自らが、地域の魅力を再確認し、愛着をもって地域づくりに取り組むことが地域の魅力を高める第一歩です。

高田区には、既に様々な市民団体が、街中の活性化や情報発信、修景事業に取り組んでおり、そうした団体と市が協力・連携することが、より効果的なイベント運営や着地型旅行商品の開発にも繋がっていくと考えます。

そのための意見交換の場を設けるとともに、拠点として高田駅前観光案内所の協働による運営と活用を提案します。